

北川造園環境行動計画

平成27年2月26日

取組方針

北川造園は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあった設計や施工などの造園業をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 施工部門、事務部門における廃棄物の削減

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成27年 2月26日

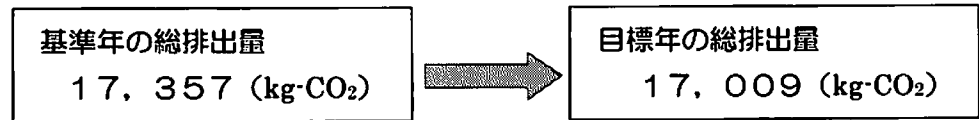
北川造園

代表 北川嘉昭

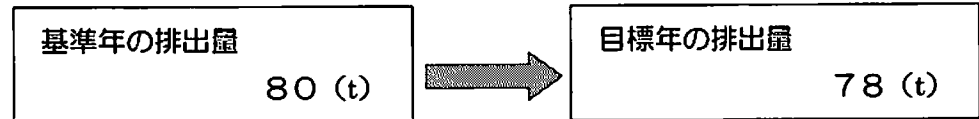
3 環境負荷の低減目標

27年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも26年です。）

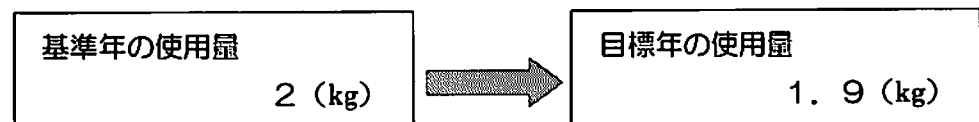
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



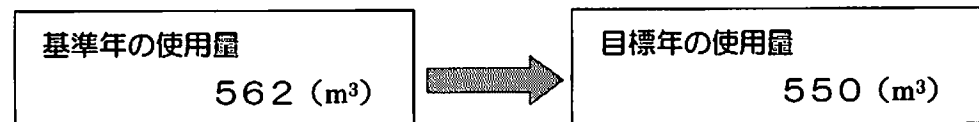
【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を2%削減する



【目標4】 水使用量を2%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（事務所での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する

（車両での取組）

- ・ アイドリングストップを徹底する
- ・ 車両の点検を定期的に行う
- ・ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する
- ・ エコドライブに取り組む（アイドリングストップ、ふんわりアクセル）
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する
- ⑤ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑥ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑦ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑧ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑨ 紙のリサイクルに努める。
- ⑩ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑦ コピーをずる場合は、その必要性を十分考える。

【取組4】水の使用量の削減

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 効率的な水の利用に取り組む。
- ③ 節水に努める。
- ④ 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ⑤ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ⑥ 洗車用ホースに手元コックを取り付ける。
- ⑦ 水道蛇口に節水こまを取り付ける。